

舞台配置図記入上の注意

「舞台配置図」の記入については、記入例を参照の上、以下の点に注意してください。

1. 記入者

各団体の責任者・顧問・指揮者が記入してください。もしくは、記入後のチェックを必ず行ってください。セッティング後の大変な調整がないようにお願いします。

2. 山台について

山台は2段です。

- 1段目の高さは1尺、2段目の高さは2尺です。左右対称です。
- 山台の大きさを確認し、楽器の大きさを考慮して無理のないセッティングをしてください。山台の上の最低限の間隔を保つための人数の目安は10名です。

3. 指揮台・指揮者用譜面台の撤去はいたしません。(小学生は例外として認める)

4. 楽器・椅子・譜面台について

- 例にならって列ごとに椅子の○を線でむすんでください。
- 打楽器はその大きさを考慮して記入してください(小さめの記入が多い)。形は○や□等の略記で結構です。
- Bassパートは、位置・大きさに注意し余裕を持って配置して下さい。
- 持ち換え用の椅子、楽器置き用の椅子は必ずその旨を書き込んでください。
- 打楽器奏者の着席用の椅子は用意しません。
- 打楽器を上手側から搬入する場合は、その事がわかるように記入してください。**
(備考欄に記載し、やじるしなどで、わかりやすく)
- 配置図の右上に椅子と譜面台の使用数を記入してください。
- 暗譜演奏の団体があつても、譜面台は撤去いたしません。**(小学生は例外として認める)**
- ピアノはステージ上手(客席からステージに向かって右側)に配置します。
- ピアノ椅子を使用する場合は○で記入して下さい。ホールで借用するのか、持ち込むのかを必ず書いてください。**(ホールで貸し出せるのはピアノ固定分を除いて2脚まで)
- ピアノの蓋を開けるか閉じるか、開ける場合にはどれくらい開けるかがわかるようにしてください。
- 借用楽器等の有無を配置図左側に記入してください。(申込時に申請している楽器のみ)

5. 楽器配置の変更について

- 「舞台配置図」提出後の配置変更は原則として認められません。
- 提出前に何らかの理由で変更をし、新規に作成することができない場合は、赤ペンを用いて訂正したものを提出してください。
- 提出後に特別な理由で配置変更をしなければならないときは、大会執行部に申し出て許可を得てください。(原則として、受付に申し出れば連絡ができるようになっています。)

6. 提出について

- 大会当日受付にて**B4版で5部**提出してください。

7. その他

- 使用打楽器の多い団体は、ステージ転換の時間内に、記入した通りのセッティングが出来るように練習してください。連盟では基本的に補助しません。
- 山吹連のホームページ上でも舞台配置図をダウンロードできますのでご活用ください。(実施要項p.32のコピーでも可能です)
- 長机(最大2台)を使用する場合は、備考欄に「長机○台」を書き、図にも書いてください。

令和〇〇年度 第〇〇回山梨県吹奏楽コンクール 舞台配置図 記入例

